

その他の金属製品製造業における激突災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	16～17	カゴ台車に鋼材を載せて移動していた時、勢いがついたためカゴ台車を止めて振り向いた。その際、自身の左側に置いてあった鋼材に左脇腹をぶつけて受傷した。	54～99	50
1	10～11	工場内にて、トイレに行くため急いで歩行中、工場内に置いてあったH鋼に不注意から、ぶつけてしまった。H鋼には、危険を指すため赤い布をマーキングのためにかけていたが、それ以後、突出しない事を、従業員に指示した。	379	1～
1	10～11	資材置場にて資材の整理作業（下請）中、重機のキャタピラーから飛び降りた際、足元の不安定な所に落ち、左足踵を負傷した。	67	—
1	19～20	工場内のターレットパンチプレスのテーブルとレールの近くで、中抜きカスを捨てる為に機械の下に入って作業していて、立ち上がる時にレールの角部分で腰をぶつけてしまった。	26	10～29
1	11～12	プラスト工場で、ボックス（2m弱）によりプラスト作業中、脚立の後方にあるサンドブラストホースがからまっていたので戻そうとした時、バランスを崩して脚立から飛び降りたとき、右足の踵から着地し、踵を骨折した。	55	1～9
1	15～16	工場に於いて、製作中の円筒タンク（直径34M×長さ11M）を横に寝かした状態にして次の作業に着手する前に、本人が上部中程のケガキ線をチェックする為テーブルリフターを使用して上部に登り、そこを歩いたときに足を滑らせ、そのまま飛び降りる状態で足から落下し、両足のかかとを骨折した。	56	30～49
2	11～12	当事業所の鋼材倉庫内において、鋼材の荷降し作業を終え、鋼材より降りる時（高さ1.5m）、雪で足を滑らせ片足が鋼材と鋼材の間（20cm）に入り、鋼材の端に尾?	56	10～

		骨を打ちつけ負傷したものである。		29
2	15~16	倉庫内の清掃中、箱内の清掃を終えて、箱より飛び降りた時に、左足首に激痛を感じた。	54	1~9
2	11~12	溶接作業場で溶接作業後立ち上がり歩きかけた時床に置いてある鋼材に躓き足を挫いた。	46	1~9
3	10~11	当社工場内にて塗装前の製品（配電盤の下部部品、約65cm×30cm×10cm）の吊り下げ作業中、高さ5mのレールに取り付けた吊り下げ用の治具に製品を取り付け、高さ約9cm位の台から降りながら振り向いた際、吊り下げ用の治具（通称ハンガー）の引っ掛け部位（4cm位出ている）が左目（眉毛と眼球の間）に刺さり受傷した。	43	10~29
3	14~15	平面研削盤上部ドレッサーにある砥石を研ぐため、前後・上下に操作中、レバーの下部を持って操作しなければならないところを上部を持って操作したため、機械奥の壁に右手小指が接触し、小指第二関節あたりを負傷した。	22	10~29
3	15~16	作業所にてテント張替作業中に、階段足場（高さ2m幅1.5m）より足を滑らせ着地した際、右足かかとを負傷した。	44	1~9
4	14~15	当社第2工場作業場に於いて被災時開先機（加工機）の刃を交換する為専用レンチでボルトを緩める際勢い余って横の刃に右手小指の付け根を強打し受傷した。骨折しているとは思わず様子を見ていたが、痛みが引かなかった。	29	10~29
4	15~16	工場内の加工場で鉄骨製のラックを作製中、天井クレーンで吊られたラックを右に回転させたところ、勢いあまったラックで左肘を強打し、その衝撃で左肩も痛めた。	38	1~9
4	10~11	現場作業中、機械に乗ってストローク調整を済ませ機械から降りる時、足を滑らせて落下し、ハンドルのレバーに胸を強打して右手側の脇腹を骨折した。その際、折れた骨で肺も損傷した。	73	1~9
5	8~9	工場内で製品の移動を被災者ともう1名が行っていた際に、被災者が高さ85cmの製品に登り玉掛け作業を終え、床に飛び降りた際に床に設けてある配線保護カバーの角を踏み、右足を負傷した。	62	50~99

5	16~ 17	当社構内にて、トラック荷台にて客先から引き取ったスクラップの選別作業を行っていたが、選別完了後荷台から降りる際、後部アオリから降車したところ、左足が滑り、転落はしなかったが体が後部アオリの方へ振れステップ角で胸部を強打した。当初は軽い打撲と思っていたが、後日、トラック荷台に上がった際に強い痛みを感じた。	47	30 ~ 49
5	11~ 12	工場内でダクト組立中、後ろにあった工具を取ろうとして足元にあったダクト材に躓き転倒しそうになり、左足を移動した時にダクト材で左足首外側を切傷し、バランスを崩して右手で踏ん張る際にダクト材で右手小指外側も切傷した。	42	1~ 9
5	11~ 12	工場内にて椅子に座って溶接作業をしていた時に、一度立ち上がり再度座ろうとした際に、椅子が元にあった位置からずれていたため尻もちをつき、腰を痛めた。	72	10 ~ 29
6	13~ 14	材料を載せる台（腰の高さ）の上で材料を梱包している結束線を切る為に、台の上に登り、切った後、その台から後ろ向きに降りようとした際に、残っていた針金に右足が引っかかり、右足が着地できず、尻から落下した。その際に、右手小指側の手の平をぶつけ骨折した。台から落下した時に遠くの方まで飛ばされた為、そこにあった材料を溜めるラックの先端に左腕から引っかかり、左腕内側が切れ、7針を縫った。	69	10 ~ 29
6	14~ 15	工場外部カードにて、製品の出荷積込みのためにトラックの荷台へ移動したところ、既に積まれていた製品に頭をぶつけてしまい、その反動による地面への落下によって、左手首・左側胸部・右膝を強打した。（地面にはH鋼が置いてあり、その上に落下した。）	66	10 ~ 29
6	18~ 19	工場内にて作業中、切粉出しをしている時に、切粉を入れておく箱をどかすのに台車のストッパー付近を左足で蹴ったところ足首を捻った。	55	10 ~ 29
6	9~ 10	機材置き場において、鉄筋2束（長さ4m、重さ2t）をクレーンを使用し、トラックの荷台に乗って荷降ろし作業中、鉄筋を持ち上げた際、吊ワイヤーがフロントアタッチメントに引っ掛かったため一度下げたところ、積んである鉄筋と下げた鉄筋とで足が挟まりそうになったため、トラックの荷台（高さ2m）から飛び降りて転	61	10 ~ 29

		倒した。その際に、右足と腰を負傷した。		
7	14~15	ケーシングの架台の上にパレットを敷きその上に乗り、扉をのせてクレーンで1m位吊り上げて素手でラップを巻いていたところ、体勢を崩した際、ケーシングに左手でつかまりながら下降したので、ケーシングの突起物（部品）に当たり、怪我をした。	35	30 ~ 49
7	13~14	当事業所内において、製品をトラックに積み込む際足場の代わりに脚立を使用し、荷受けする際トラックのアオリに右足を引っかけて脚立を踏みはずし、腰の右側を打撲した。ヘルメット着用なし 2tトラック	70	1~ 9
7	13~14	工場内で、シャッター下地溶接中に、汗で身体が濡れていたため感電をした。このままでは感電死の恐れがあるかもしれないと自分で判断をしとっさに足場の上から飛び降りた。その時は我慢が出来、終了迄仕事をした。その日の夜になって左足の腫れが酷く、痛みも伴った。左足第2、3中足骨骨折と診断される。	26	1~ 9
7	14~15	工場で、作業を終え、移動しようとした。移動するために、右足を架台に乗せ、乗り越えようとした時、足がふらつきバランスを崩し、右側の側面にある鉄に手をつけて鉄が倒れた。その際右足首部位が接触して被災した。	29	100 ~ 299
7	14~ 15	当社資材置き場において、トレーラ車に鉄骨を積み込む作業をしていた際、速足にて場所を移動中、近くに置いてあったH鋼側面から突出しているプレート部分の角に左足の脛部を強打し、転倒した際に怪我をした。	41	1~ 9
7	14~ 15	工場内において製缶作業中、取付位置確認のために覗き込んだとき、目の前にある締め付け用バイスのハンドルの片端に左目を打ちつけ負傷した。診察の結果、左目に裂傷等があるとのことで、出血が止まるまで1週間安静を要することとなった。	43	30 ~ 49
7	13~ 14	当社工場内で、製品のダクト（直径510mm×長さ2500mm、重さ40kg）を2人で運んでいるとき、それを下に降ろすときに手が滑り、不安定になったのでそれを止めようと、咄嗟にダクトの中に右膝を入れて負傷した。	55	10 ~ 29
		会社工場内コイルパネル置場において、立て掛けてあるコイルパネル（厚さ0.8mm、幅43cm、コイル状、約1t）をクレーンを使って整理作業中、クレーン周りばか		30

7	8~9	りを注視して移動していたため、足元が不注意となり、パネルの台座（三角形）上で身体のバランスを崩し、壁側に倒れ掛かったため、右手を思いっきり伸ばして阻止しようとした際、壁に強く打ちつける状態となり負傷した。	48	~ 49
7	9~ 10	工場内リフトにて、金型を出す時に台車が引っ掛かり、戸開が開けにくかったの で、下戸開を足で踏んで強引に開けたため、リフト上戸開きが勢いよく開き、上戸 開に添えていた右手を壁にぶつけ負傷した。	45	30 ~ 49
9	14~ 15	製品の集塵作業を終えて別の持ち場に行こうと振り返りかけたところ、体がよろけ て後ろにあった圧粉体台車の淵に左前腕が接触、裂傷し流血した。	43	300 ~ 499
10	15~ 16	本社工場において、鋼板を加工する機械のロールの高さ調整する部品を取り外そう とした時、オペレーターがロールを下げ降ろした為、左手（親指付近）を負傷し た。	27	1~ 9
10	8~9	クレーン作業において、製品出荷準備中、製品上にクレーンのハッカーを移動する 際にクレーン及びハッカーを見ながら身体を移動し、前向きに走行中、足元を見て いなかった為に、作業通路の鉄板敷板の段差（5~10ミリ）に足が躓き、身体が前 のめりになり、準備製品に手を出す形となり、左手を梱包品に出す際、手の平側で はなく甲側でついてしまった為、手首部分を骨折及び脱臼した。	51	1~ 9
10	22~ 23	第3工場A25柱付近でBOX桁内溶接作業をする為、桁端ダイヤラム開口部から入り 箱内に着地した際、バランスを崩し、立てリブに右足首をぶつけ右足首を捻ってし まった。	32	50 ~ 99
10	15~ 16	平鋼をバンドソーで切断するため、ローラ台に材料を載せようとした時、材資料が 滑ってしまい、慌てて手を払いのけたが左手小指だけに当たってしまった。翌日 仕事をしたが、小指が痛かった。骨折している事が判明した。	39	1~ 9
10	11~ 12	当車工場内において木箱の組み立てをしている際の事故。木材加工に使用するた めのハンマーを右手に持ち、左手で木箱の接面を移動しないように支えながら、釘 を打ち付けている時に、誤って左手薬指を打ち付け、第1関節部先を複雑骨折し た。	39	10 ~ 29

11	14～ 15	休憩が終わり仕事に戻るため時計を見ようとして、冷蔵庫に足がぶつかり自分の左足の靴を踏んでしまい、後ろに尻もちをつき、壁に頭をぶつけた。	27	30 ～ 49
11	11～ 12	工場でトラックの荷台約1メートルの高さで、材料を荷下ろし中に踏み出した右足が荷台から外れ、荷を持ったまま右足から着地し、右足首を負傷した。	48	10 ～ 29
11	17～ 18	組立治具上で鉄筋カゴの上部を製作上部の組立完了後、組立治具（高さ約70cm）から降りる際、飛び降りてしまい着地時に治具鉄筋に右手中指をぶつけてしまった。	20	1～ 9
11	16～ 17	工場内において、10tトラックに製品（梁、柱）を積み込みを終えて、トラックの荷台から降りようとした時、昇降用のタラップを使用せず積荷の上（高さ約1,600mm）から飛び降りた時に、右足の踵を骨折した。	53	50 ～ 99
12	9～10	本社玄関入口の屋根部分にはしごをかけて、はしごにのぼった状態で窓ガラスにホースで水をかけていた。はしごが横に倒れそうになったので、後ろに飛び降りたところ、足から地面に着地し、かかとを受傷した。（2～3m程の高さから飛び降りた。）	58	—

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to：[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_09.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html)